

鍼灸科

解剖学3

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宇南山 伸			実務 経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造について詳細に学びます。

到達目標

鍼灸の学習を進めるうえで必要な解剖学的知識を習得する。医療の基礎となる用語を理解し身につけることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対しての理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体の内外の構造を立体的に把握し全体の深い理解につなげる。

授業方法

まず最初に解剖学2の脈管学の続きとして、静脈系、リンパ系組織および胎児循環を学び、それに続いて神経系の形態ならびに機能的な特徴について学習することを目的とする。脈管と神経という身体の諸機能を支持、制御する構造の理解を通して解剖学の基礎を学ぶ。

成績評価方法

期末試験および授業中に復習のための小テストを実施する。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

東洋療法学校協会編解剖学医歯薬出版

回数	授業計画
第1回	脈管学（上大静脈、奇静脉）
第2回	脈管学（下大静脈）、胎児循環
第3回	脾臓、リンパ性器官

第4回	神経系の基礎
第5回	中枢神経（髄膜、脳室系、大脑）
第6回	中枢神経（間脳、脳幹）
第7回	中枢神経（小脳、脊髄）
第8回	伝導路（反射路、救心性伝導路）
第9回	伝導路（遠心性伝導路）
第10回	末梢神経（脳神経－1）
第11回	末梢神経（脳神経－2）
第12回	末梢神経（頸神経叢、腕神経叢）
第13回	末梢神経（肋間神経、腰神経叢）
第14回	末梢神経（仙骨神経叢）
第15回	総合授業